

2006年度決算説明会



三菱自動車工業株式会社

2007年4月26日

2006年度業績の概況 及び2007年度業績の見通し



市川 秀

常務取締役 (財務統括部門担当)

(単位: 億円, 千台)

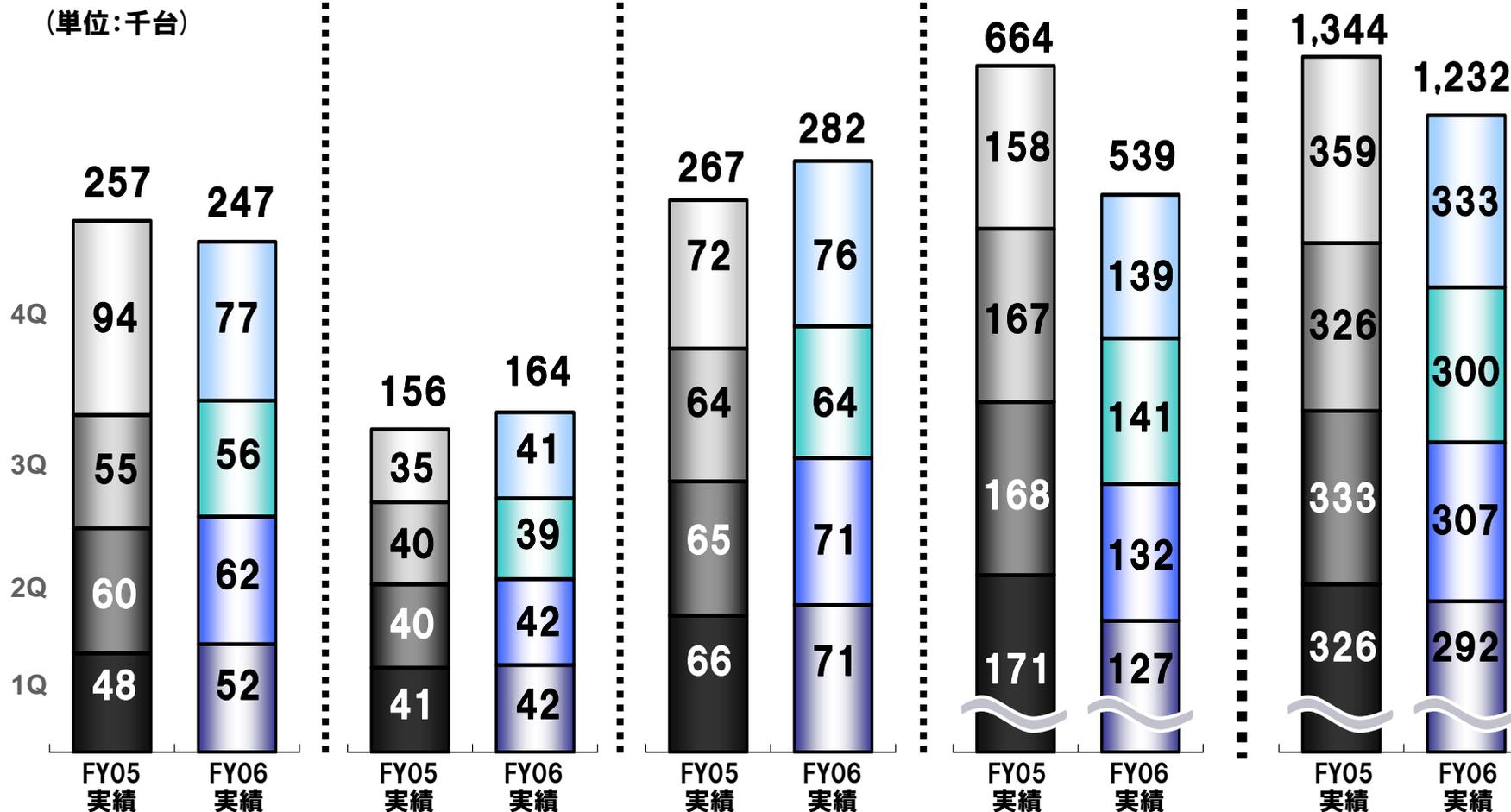
当期損益の黒字化達成

	FY05 実績①	FY06 実績②	差 ② - ①	FY06 通期 '06/10/30 公表値
売上高	21,201	22,029	+828	22,300
営業利益	68	402	+334	430
経常利益	-178	185	+363	210
当期利益	-922	87	+1,009	80
販売台数(小売)	1,344	1,232	-112	1,322

地域別販売台数実績【前年同期対比:小売ベース】

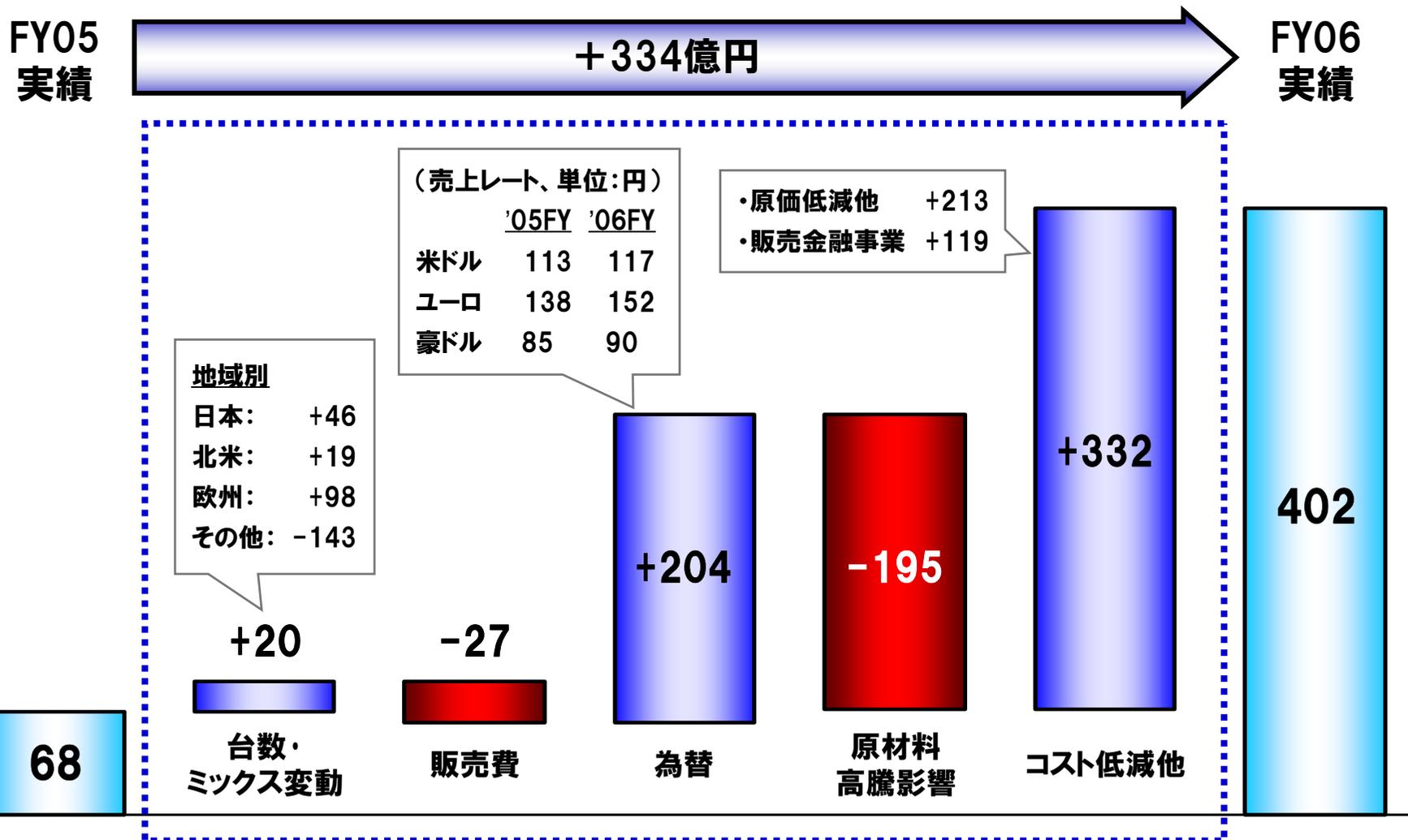
日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
FY06実績の前年同期比増減				
-10	+8	+15	-125	-112

(単位:千台)



営業損益増減分析【前年同期対比】

(単位：億円)



営業外損益、特別損益等【前年同期対比】

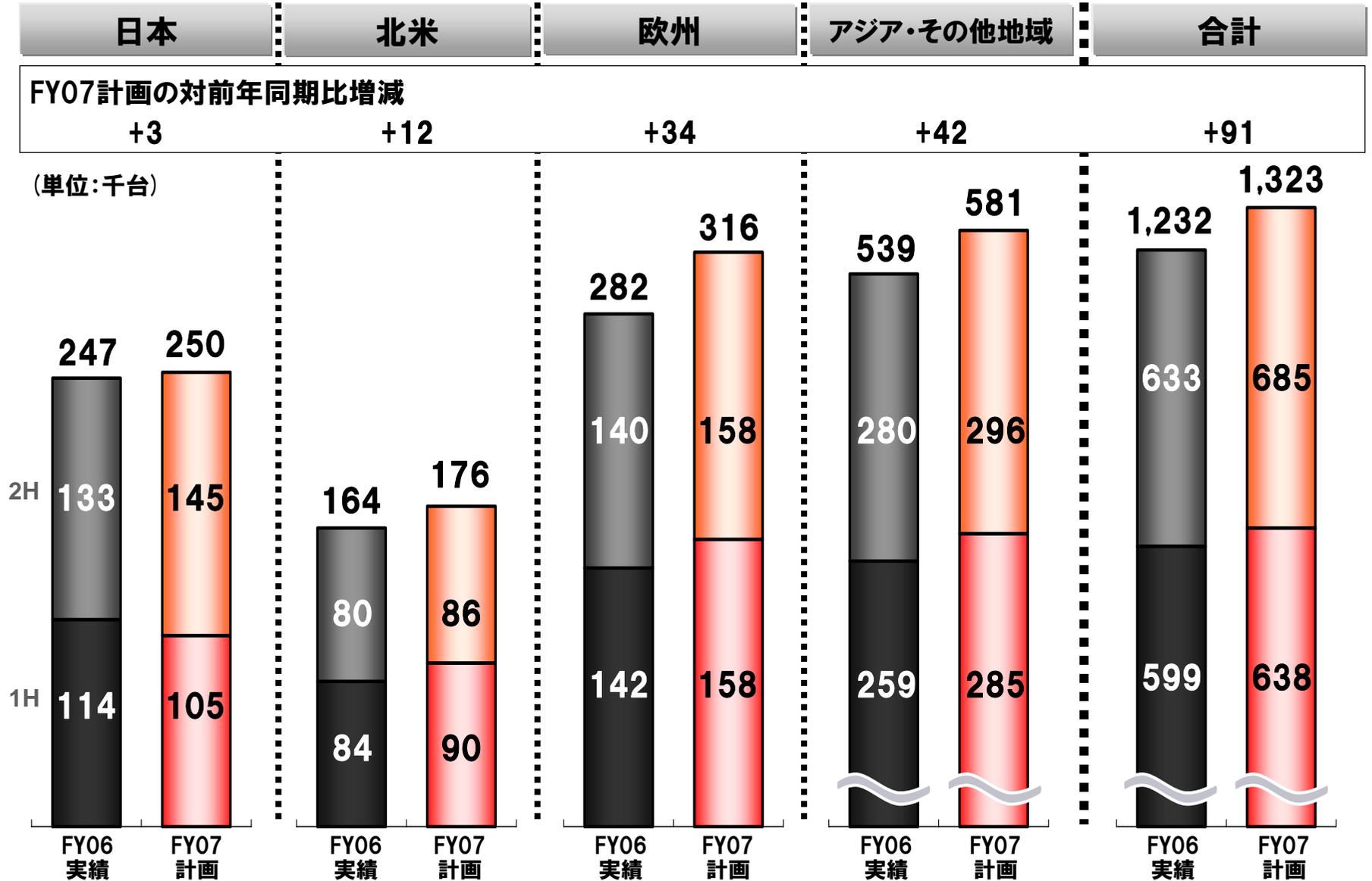
(単位：億円)

	FY05 実績①	FY06 実績②	差 ② - ①	
営業利益	68	402	+334	
営業外損益	-246	-217	+29	<ul style="list-style-type: none"> ・利息収支 +21 ・その他 +8
経常利益	-178	185	+363	
特別損益 及び法人税等	-744	-98	+646	<p>特別損益 +46億円の主な内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・匿名組合清算損益 +139 ・株式売却益 +50 ・減損損失 -75 (含 国内販社再編分) ・早期退職金 -31
当期利益	-922	87	+1,009	

(単位：億円)

	FY05末 ('06/3E)	FY06末 ('07/3E)	増減
資産合計	15,576	17,787	+2,211
うち 現金預金	2,590	3,581	+991
たな卸資産	2,579	3,520	+941
負債合計	12,763	14,704	+1,941
うち 有利子負債合計	4,478	5,038	+560
純資産合計	2,813	3,083	+270

2007年度業績見通し 地域別販売台数計画【前年同期対比】



注:販売台数はOEMを除く。06年度販売台数実績は速報値。

(単位: 億円, 千台)

黒字体質の定着化へ

	FY06 実績①	FY07 計画②	差 ② - ①
売上高	22,029	24,300	+2,271
営業利益	402	510	+108
経常利益	185	300	+115
当期利益	87	200	+113
販売台数(小売)	1,232	1,323	+91

2007年度事業計画



益子 修

取締役社長

新型セダン



『アウトランダー』



グローバル戦略車

新世代
プラットフォーム

『デリカD:5』



将来的に
さらなる拡大展開

量から質へ ～ 登録車比率 06年度30%→07年度40% ～

■ 利益重視の販売戦略

◇ 新型車の投入

- ・ギャラン フォルティス (秋)、ランサー エボリューション X (秋)
- ・デリカD:5 2WD、エアロ仕様車 (5月)



◇ SUV車種 (デリカD:5、パジェロ、アウトランダー) のロングセラー化

◇ 「三菱シミテカラ キャンペーン」による来店数大幅向上

◇ 法人営業の販路拡大と採算改善

◇ 営業力強化プログラムの浸透でバリューチェーン構築

■ アフターサービス事業の強化

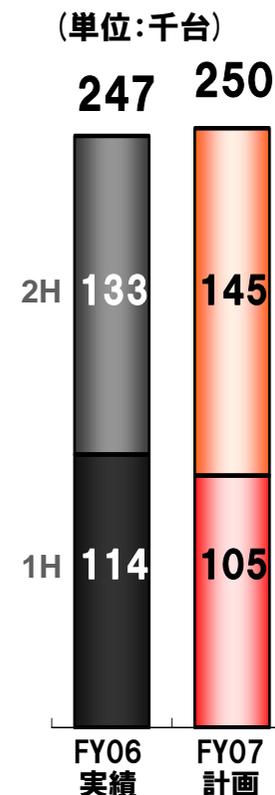
◇ 「三菱メンテナンスフェア」の継続開催

■ 販売ネットワーク再構築の加速

◇ 連結販売会社は29社を5社へ広域統合

- ・北海道：5社→1社(4月実施済)、他地区：24社→4社(7月)

◇ 部品販売会社は7月を目途に広域統合予定



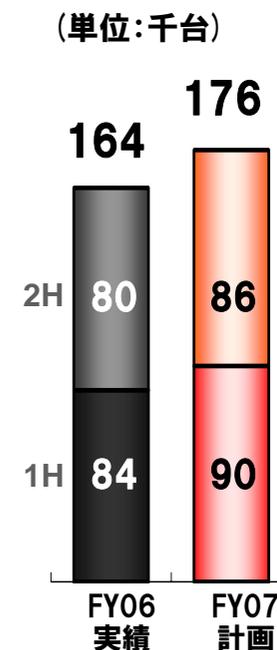
ブランド力強化 ～ 販売正常化から第2ステージへ ～

■ 新モデルを核に新規顧客層の開拓・拡大

- ◇ 主力2車種の刷新
 - ・ アウトランダー（06年11月）
 - ・ ランサー（07年3月）
- ◇ 最先端モデルの投入（ブランド強化）
 - ・ ランサー エボリューション（07年度後半）
- ◇ 主力車種・主要市場への集中した広告宣伝活動
- ◇ ディーラーサポート施策を継続（ディーラー網の活性化促進）

■ 現地生産事業の収益改善

- ◇ イリノイ工場生産車種の商品力を強化し、販売を促進
- ◇ 更なるコスト低減活動（VA/VE、資材費、所内費）
- ◇ ロシア・中東等への輸出台数拡大



グローバル戦略車の拡大と成長市場での更なる拡販

■ SUV車種 (アウトランダー、パジェロ、L200) の拡充と販売強化

(単位:千台)

■ 新型ランサー投入 (ロシア:07年5月、他欧州:07年秋)

■ ロシア・ウクライナ等成長市場での一層の拡販

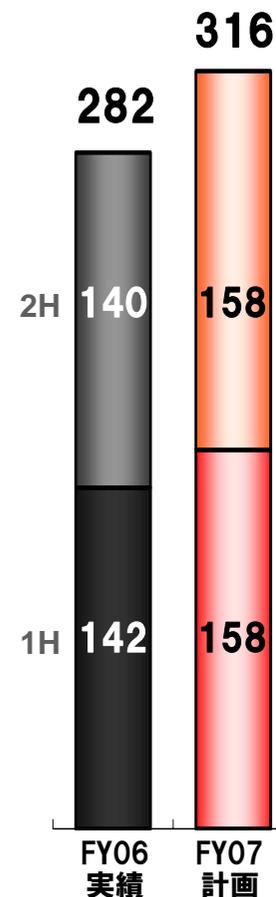
— 現地ディストリビューター/MMC直結によるマーケティングの強化 —

◇ ロシア: 06年度 70千台 ⇒ 07年度 94千台

◇ ウクライナ: 06年度 16千台 ⇒ 07年度 21千台

■ PSAプジョー・シトロエン向け新型SUVの供給

◇ 07年度: 約30千台



新型車投入による販売強化・拡大

■ 中国

◇ 輸入完成車事業の強化

- 新車の追加投入 (07年末にSUV2車種)
- 新販売会社設立 (07年度内)

◇ 東南汽車：三菱ブランド車販売ネットワークの整備・拡充

■ アセアン

◇ タイ生産車輸出累計100万台突破 (6月見込み)

■ 豪州

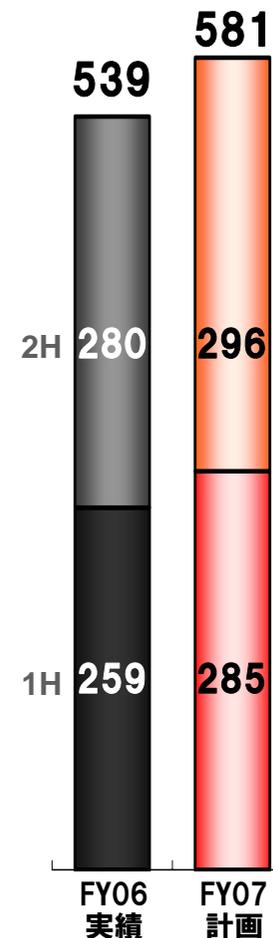
◇ 輸入完成車販売の強化

- 06年度投入車の拡販 (トライトン、パジェロ、アウトランダー)
- 新型ランサー投入 (9月)

■ 中南米・中東・アフリカ

◇ 新型車攻勢による更なる拡販 (パジェロ、ランサー、アウトランダー)

(単位:千台)



■ 06年度実績

当期損益の黒字化達成

- 販売台数は、8%減少。北米、欧州で増加するも、日本は微減、アジア・その他地域は苦戦
- 売上高は、販売台数減となるも、完成車販売増、為替好影響等で増収
- 全損益項目で改善し、再生計画目標に掲げた当期損益黒字化を達成

■ 07年度見通し

増収増益、黒字体質定着化の必達

- 販売台数は、グローバル戦略車効果で、日本、北米、欧州、アジア・その他の全地域で台数増を図る
- 売上高は、販売台数増に加えOEM供給台数増等で増収
- 全損益項目で増益を図り、黒字体質定着化を必達

■ 次期中期計画

将来の持続的成長に向けた基盤づくり

- 次期中期計画策定に着手し、07年度の業績動向を踏まえ、年度内に公表



添付資料

(単位: 億円, 千台)

着実な損益改善で当期損益の黒字化を達成

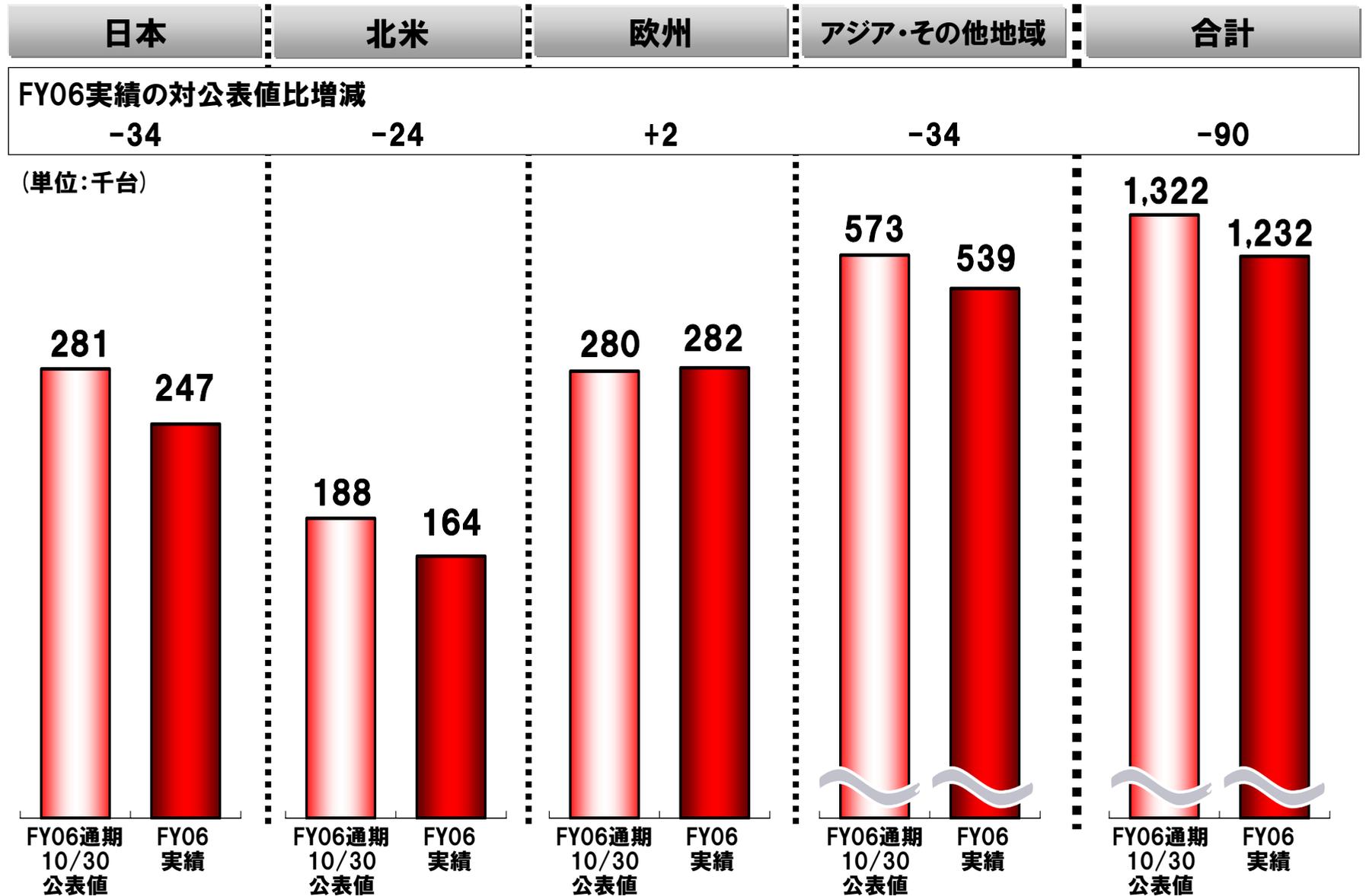
	FY06 1Q ('06/4-6)	FY06 2Q (7 - 9)	FY06 3Q (10-12)	FY06 4Q ('07/1-3)	F Y 0 6 通 期 ('06/4-'07/3) 累 計
売 上 高	4,839	5,215	5,387	6,588	22,029
営 業 利 益	-68	13	119	338	402
経 常 利 益	-122	-10	68	249	185
当 期 利 益	-151	-10	43	205	87
販売台数 (小売)	292	307	300	333	1,232

2006年度 地域別業績【前年同期対比】

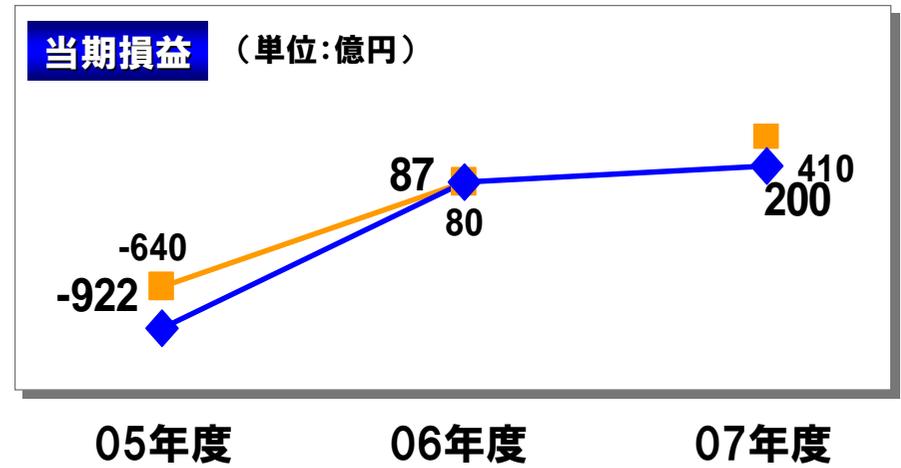
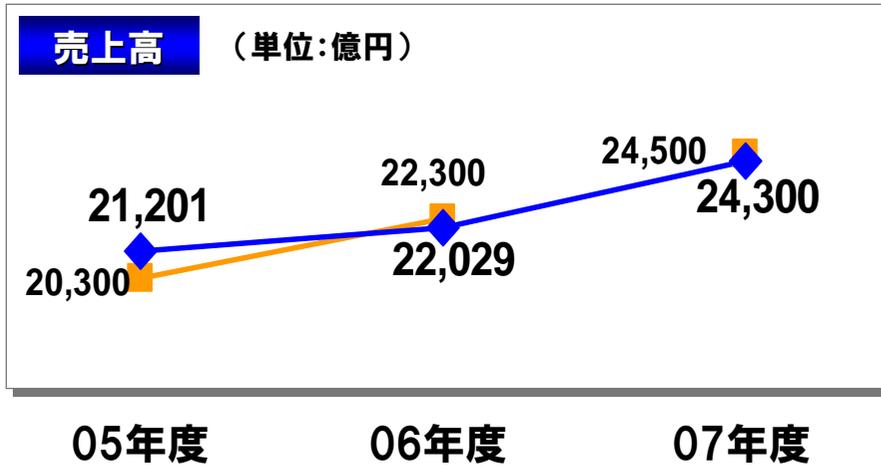
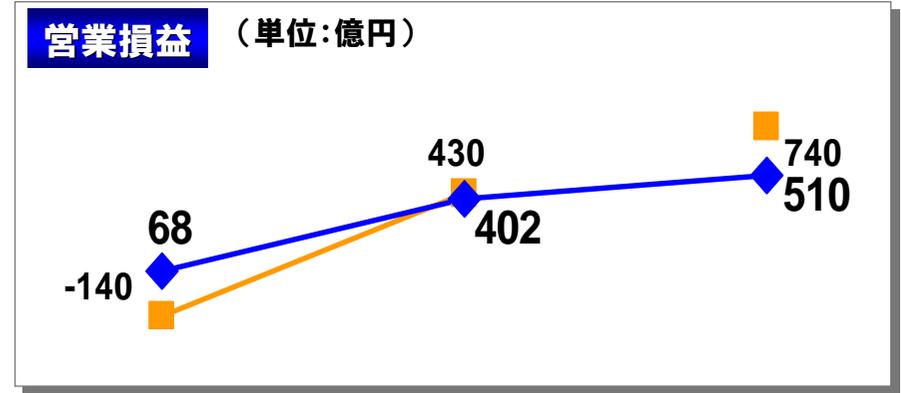
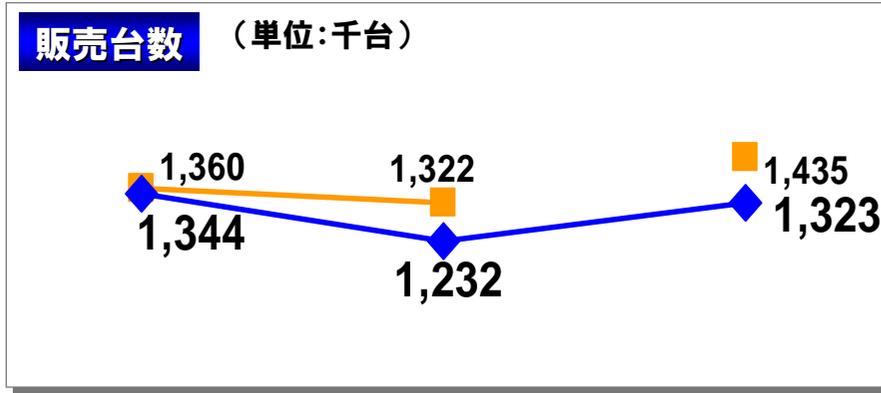
(単位：億円)

	FY05 実績①	FY06 実績②	増減 ②-①	(参考) FY06 通期 10/30公表値
売上高	21,201	22,029	+828	22,300
- 日本	5,041	5,060	+19	5,500
- 北米	4,157	4,236	+79	4,700
- 欧州	5,862	6,628	+766	6,200
- アジア・ その他	6,141	6,105	-36	5,900
営業利益	68	402	+334	430
- 日本	-553	-438	+115	-350
- 北米	-72	6	+78	50
- 欧州	244	426	+182	260
- アジア・ その他	449	408	-41	470

2006年度 地域別販売台数実績【'06/10/30公表値対比:小売ベース】



販売台数・売上高・損益の推移



◆ 実績/今回計画
 ■ 再生計画 (06/4/27,10/30見直し反映)

注: 販売台数はOEMを除く。06年度販売台数実績は速報値。

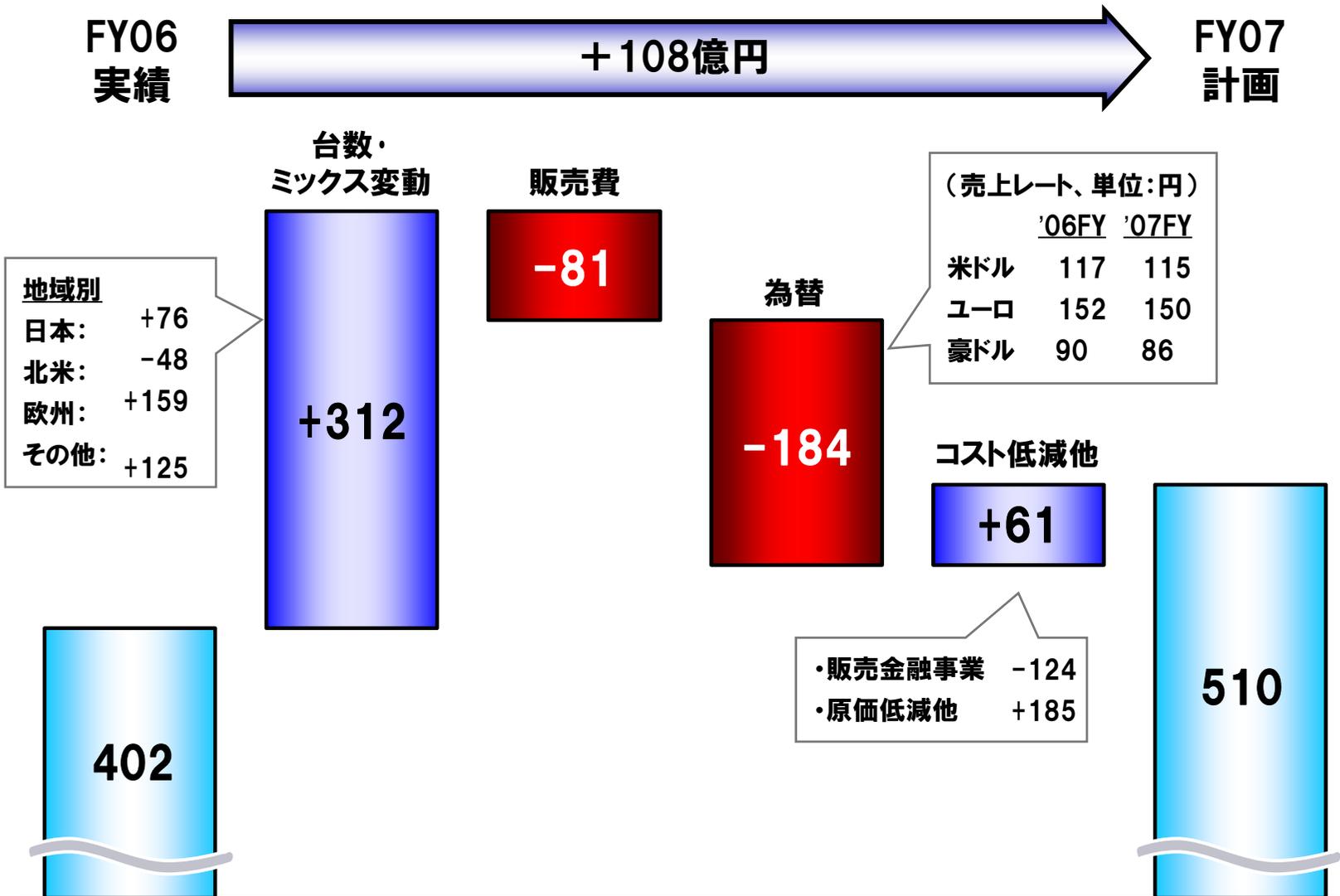
2007年度地域別業績見通し【前年同期対比】

(単位：億円)

	FY06 実績①	FY07 計画②	増減 ②-①
売上高	22,029	24,300	+2,271
- 日本	5,060	5,800	+740
- 北米	4,236	4,400	+164
- 欧州	6,628	7,300	+672
- アジア・ その他	6,105	6,800	+695
営業利益	402	510	+108
- 日本	-438	-200	+238
- 北米	6	-140	-146
- 欧州	426	430	+4
- アジア・ その他	408	420	+12

2007年度業績見通し 営業損益増減分析【前年同期対比】

(単位：億円)



本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における 当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、

- 本計画の各種目標・各種施策の実現可能性
- 金利・為替・石油価格の変動可能性
- 関係法令・規則の変更可能性
- 日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等 があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。